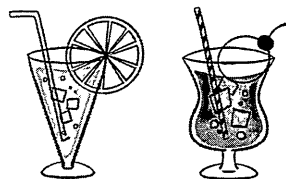


雪嶺集

〈宮坂靜生鑑〉



飯田阿智吟行

小林貴子

花桃といふ新顔を試し見に
 花桃は点描の花はしやぐ花
 川音を得て花桃の三色咲き
 スカートにしたき三色花桃は
神林句会の皆さんは
 花桃に近々と立ち乙女さぶ
 谷埋めて咲く花桃を過剰とも
 眉の濃き柳田國男梨咲けり
 花りんご日夏耿之介の詩文
 くわりん樹の虚ろを壺に新芽吹く
 きんつばのやうな浮雲春惜しむ